

**【第253号 紙面案内】**

第2面……………第58回全国研究大会開催校紹介

第3面……………第58回全国研究大会日程

第6面……………国際委員会報告

第58回 全国研究大会統一論題解題

大会実行委員長 小山 修 (札幌大学)

第58回全国研究大会は、10月31日（金曜日）、11月1日（土曜日）・2日（日曜日）の3日間、「企業経営のグッドプラクティスと経営教育－企業経営の正道を求めて－」を統一論題として、札幌大学を会場として開催されます。

アメリカのサブプライムローン問題を契機として、1990年代からの日本の「失われた10年」の大型版が、アメリカ発の世界不況として広がりを見せる中で、WTOを舞台にグローバリゼーションの一層の進展に加えて、いまや世界の工場となった中国をはじめ、BRICS諸国の台頭の中、グローバル競争の激しさがますます加速し、その裏面では「ワーキングプア」や「格差社会」、「セーフティネットの無機能化」などが懸念されています。

こうした厳しい経済・社会情勢のもとで、人々の必要物を地道に製造し、流通し、消費し、循環させるといふ企業本来のものづくり機能を見失う企業も出現し、いわゆる「粉飾決算」や「利益操作」といった従来型の企業不祥事だけでなく、食の安心・安全を危うくする食品偽装事件などが、とどまるところを知らず、という状況です。こうした状況の中で、まっとうな企業経営とは何か、企業の社会的責任（CSR）の発揮にとどまらず、企業経営のグッドプラクティスの実際はどのようなものかを探求し、その研究をベースに、経営者、従業員、地域社会、国民各層に経営教育の重要性を喚起し、企業経営の「正道」を求めつつ、経営教育の重点を世に訴えることが求められているように思われます。

この第58回全国研究大会では、特別講演として「中国ぎょうざ食中毒事件」に機敏に対応し、立ち直った生協コープさっぽろの事例をご報告いただく予定です。また新たな地域ブランドづくりに挑戦している「さっぽろスイーツ」の仕掛け人であるコンフェクショナリーの代表取締役社長にそのねらいをお話いただく予定です。

なお、初日の10月31日（13時30分～15時）には、新千歳空港に程近い臨空工業団地に立地する小さな世界企業「ダイナックス社」の工場見学を予定しております。

ナナカマドの樹の実が真っ赤に色づく深秋のさっぽろは、観光の面でもハイシーズンです。ご参加の皆様には、ぜひ早目にご旅行のお手配をお願い申し上げます。

第58回日本経営教育学会全国研究大会日程

統一論題

「企業経営のグッドプラクティスと経営教育 —企業経営の正道を求めて—」

会 期：2008年10月31日(金)～11月2日(日)

会 場：札幌大学

大会実行委員長：小山 修 (札幌大学)

第1日目：10月31日(金)

13：30～15：00 企業見学
理事会

第2日目：11月1日(土)

9：30～ 受 付
10：20～10：25 開会挨拶 第58回全国研究大会実行委員会委員長 小山 修
10：25～10：30 会長挨拶 日本経営教育学会会長 小椋康宏
10：30～11：20 統一論題 1
11：30～12：20 統一論題 2
12：20～13：20 休 憩
13：20～14：10 統一論題 3
14：20～15：10 統一論題 4
15：20～16：10 韓国経営教育学会からの派遣報告
16：20～17：30 特別講演
17：40～20：00 懇親会

第3日目：11月2日(日)

9：00～ 受 付
9：30～10：10 自由論題報告 特定研究プロジェクト
10：15～10：55 自由論題報告 海外派遣報告 (韓国)
11：00～11：40 自由論題報告 海外派遣報告 (米国)
11：40～12：30 休 憩
12：30～15：00 統一論題パネルディスカッション
15：00 閉会挨拶 日本経営教育学会組織委員会委員長 加藤茂夫

◇◇関東部会開催のご案内◇◇

- 日 時：平成20年10月11日(土) 13:00~16:30
- 場 所：東京富士大学本館4階141教室(山手線・西武線・地下鉄高田馬場駅下車)
- 報告プログラム
 - 第1報告：13:00~13:55
報告者：羽田明浩氏(立教大学大学院経営学研究科博士後期課程)
「病院の業績格差要因—赤十字病院93病院の業績格差要因に関する考察—」
コメンテーター：高橋淑郎氏(日本大学)
司会者：藤森大祐氏(東京富士大学)
 - 第2報告：14:00~14:55
報告者：石毛昭範氏(拓殖大学)
「管理職の労働時間管理に関する一考察」
コメンテーター：服部治氏(松蔭大学)
司会者：安田賢憲氏(東京富士大学)
===14:55~15:35 コーヒーブレイク(軽食)===
 - 第3報告：15:35~16:30
報告者：関口和代氏(東京富士大学)
「組織市民行動が経営活動に及ぼす影響—フィットネスクラブにおける調査結果を中心に—」
コメンテーター：加藤茂夫氏(専修大学)
司会者：谷内篤博氏(文京学院大学)
※報 告：40分、コメント・質疑：15分
- 参加費：500円
- お問い合わせ：関東部会長・谷内篤博(049-261-7938, yachi3jp@yahoo.co.jp)
※次回の関東部会は平成20年12月20日(土)立正大学で開催予定

機関誌投稿論文募集

機関誌委員長 森川信男(青山学院大学)

2009年1月末日締め切りで、機関誌『経営教育研究』第12巻第2号(2009年6月発行予定)への投稿論文を募集しています。会員の皆様の積極的なご投稿をお待ちしております。

◇◇関西部会開催のご案内◇◇

- 日 時：平成20年11月22日(土) 13:30~16:45
- 場 所：大阪府立女性総合センター（ドーンセンター）4階 中会議室2
〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-49 (TEL 06-6910-8500)
JR東西線大阪城北詰駅2号出入口から西へ550m
京阪天満橋駅・地下鉄谷町線天満橋駅1番出口から東350m
- 報告会終了後には17時30分より例年通り懇親会も予定されております。
会場は東天紅OMMビル店（谷町線天満橋駅1番出口すぐ、京阪天満橋駅東出口徒歩1分、TEL 06-6944-1015）を予定しています。
- ご報告を希望される方は、部会幹事までお知らせください。
報告者の募集は3名が揃い次第、締め切らせていただきます。
- お問い合わせ：関西部会幹事・大東正虎 (daito@rcss.kansai-u.ac.jp)
- 詳細は別途ご案内を申し上げます。

◇◇中部部会開催のご案内◇◇

- 日 時：平成20年11月8日(土) 13:30~17:00
- 場 所：中部大学名古屋キャンパス
交 通：名古屋市中区千代田5-14-22
JR中央本線「鶴舞」駅名大病院口(北口)下車すぐ
地下鉄「鶴舞」駅下車北へ約100m
※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。
- 報告プログラム
第1報告：渡辺伊津子氏（朝日大学）「アパレル企業の戦略形成 ―インタビュー調査をベースにして―」
第2報告：谷保範氏（愛知学院大学）「競争優位における情報の意義」（仮題）
第3報告：石井泰幸氏（愛知産業大学）「ITと経営教育 ―ITスキルと経営能力との関係性について―」
- 参加費：500円
- お問い合わせ：中部部会長・辻村宏和 (tsujimura@smile.ocn.ne.jp)
次回開催は、平成21年3月21日(土)愛知産業大学名古屋サテライトです。中部部会事務局では随時報告募集を行っております。報告を希望される方は、
草田清章（愛知産業大学名古屋サテライト 名古屋市熱田区金山1-6-9
TEL 052-683-0021, kusada@asu.ac.jp）までお知らせください。

国際委員会報告

国際委員会委員長 吉田優治（千葉商科大学）

1. 来年度・米国経営学会年次大会（シカゴ）への派遣報告者を募集

来年度の米国経営学会年次大会は、2009年8月7～11日、シカゴにおいて「Green Management Matters」をメインテーマに開催されます。8年目を迎える報告者交換プログラムをより実質的な学術的コミュニケーションの場にするための協議が関係者間で行われ、大会3日目の8月9日（日）、本学会からの派遣報告者を中心としたシンポジウム形式（2時間）のPDW（Professional Development Workshop）を企画実施することになりました。

米国側のプログラム調整の都合から、来年度の派遣報告者を急募します。英語での報告（約40分）が求められますが、討論の際には必要に応じて通訳の準備を検討しています。報告内容は「経営教育」に関するもので、米国側の複数の討論者との議論を予定しています。派遣報告を希望される会員（院生会員を除く）は、2008年9月30日（火）までに報告概要（40字×35行×4ページの日本語概要及びその英訳概要）を学会事務局までメールもしくは郵送にてご送付ください。国際委員会において審査させていただきます。派遣報告者には5万円の渡航準備金が支給されます。

2. 今年度・米国経営学会年次大会（アナハイム）で岡田和秀氏（専修大学）が報告

2008年8月12日（火）8：30～10：10、アナハイム・コンベンションセンターにおいて岡田和秀氏（専修大学）は、「Japan's Management Education in Retrospect and Perspective」と題する派遣報告を行いました。報告は、日本の企業や大学における経営教育の変遷と現状、今後の課題についてのもので報告後に参加者との間で活発な議論が行われました。岡田氏には経営教育部会から報告に対する感謝楯が贈られました。また吉田には国際学術交流への貢献に対し同部会からAwardが授与されました。

米国経営学会の会員数は約1万9千名。会員の国籍は102カ国に及び、全体の約40%が海外会員です。今年度参加者は約6千名。国籍は83カ国。日本からの参加者は年々増加し約50名。ちなみに7月上旬までの事前参加登録者数は、米国4492名、台湾288名、中国145名、シンガポール117名、香港109名、英国500名、カナダ424名、ドイツ256名、フランス193名、スペイン143名、イタリア142名。

報告応募総数5077件、報告件数2341件、シンポジウム応募件数696件、シンポジウム実施件数409件、セッション総数1720件でした。

機関誌投稿論文、日本経営教育学会山城賞および山城賞奨励賞、アメリカ経営学会経営教育部会への派遣報告者、韓国経営教育学会への派遣報告者のお申し込みお問い合わせは事務局までお願いいたします。

編集後記

会報253号をお届けします。実り多き成果をあげることができるよう、第58回全国研究大会の開催に向けて準備が進んでおります。会員の皆さま、ぜひご参加ください。

樋口弘夫・杉田あけみ

発行 日本経営教育学会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-8-4
株式会社山城経営研究所（担当：魚住）
TEL 03-3264-2100 FAX 03-3234-9988
E-mail: name@kae-yamashiro.co.jp
URL: http://www.j-keieikyoku.jp/

印刷 ㈱フジヤマ印刷 〒03-3260-3801
E-mail: fujiyama@mx7.ttcn.ne.jp